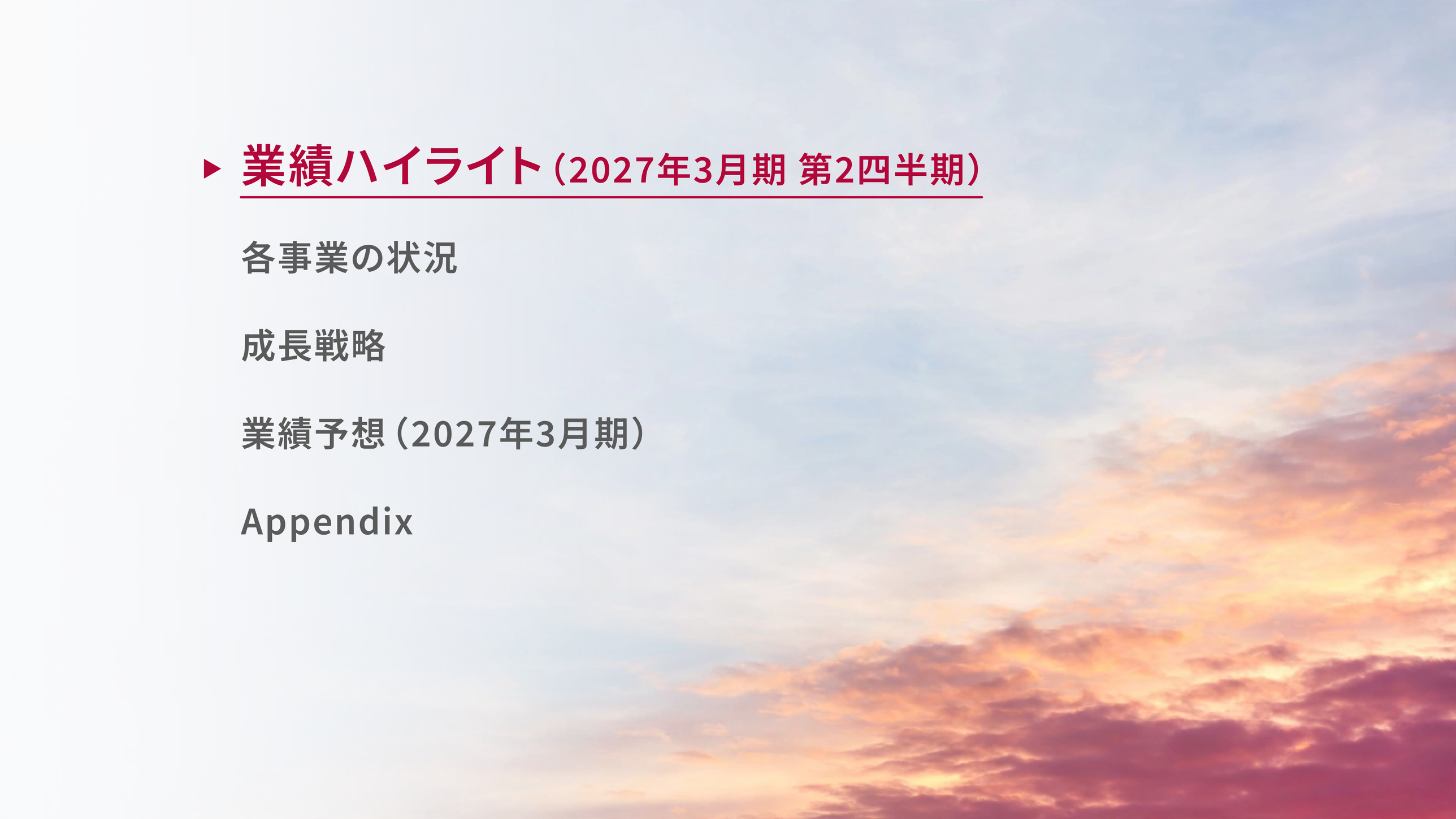
TORICO

2027年3月期 第2四半期決算説明資料

2026年11月9日



- **業績ハイライト（2027年3月期 第2四半期）**

  各事業の状況

  成長戦略

  業績予想（2027年3月期）

  Appendix

売上は計画を上回り、本業の損失は半減、経常利益は黒字転換

売上高（上期累計）

計画比

＋9.2%

1,472百万円（計画1,348百万円）
前年同期比＋2.6%

- 上振れ幅は1Q＋6.5%→2Q＋11.8%
- コミックECの再成長が売上をけん引

営業損益（上期累計・優待費用除く）

本業の損失は前年同期から

半減

▲77.3百万円 → ▲36.9百万円
（40.4百万円改善）

- 粗利率38.0%→40.7%（＋2.7pt）
- 優待費用36.8百万円を含めても改善

経常利益（上期累計）

前年同期から黒字転換

1.9億円の黒字

前年同期 ▲76百万円
当期純利益 191百万円

- ETH評価益255.9百万円を営業外計上
- 自己資本比率76.8%（＋4.5pt）

通期予想（売上高2,910百万円・営業利益0百万円）に対し、売上高の進捗率は50.6%。繁忙期を迎える下期で収益を積み上げる。

※優待費用：ETHトレジャリー事業開始記念優待の費用（36.8百万円）。2Qに一過性で計上し、下期の発生はありません。
※経常利益：ETH（暗号資産）の期末時価評価による評価益255.9百万円（営業外収益）を含みます。経常利益・当期純利益は連結の値。

©2026 TORICO Co.,Ltd.

TORICO

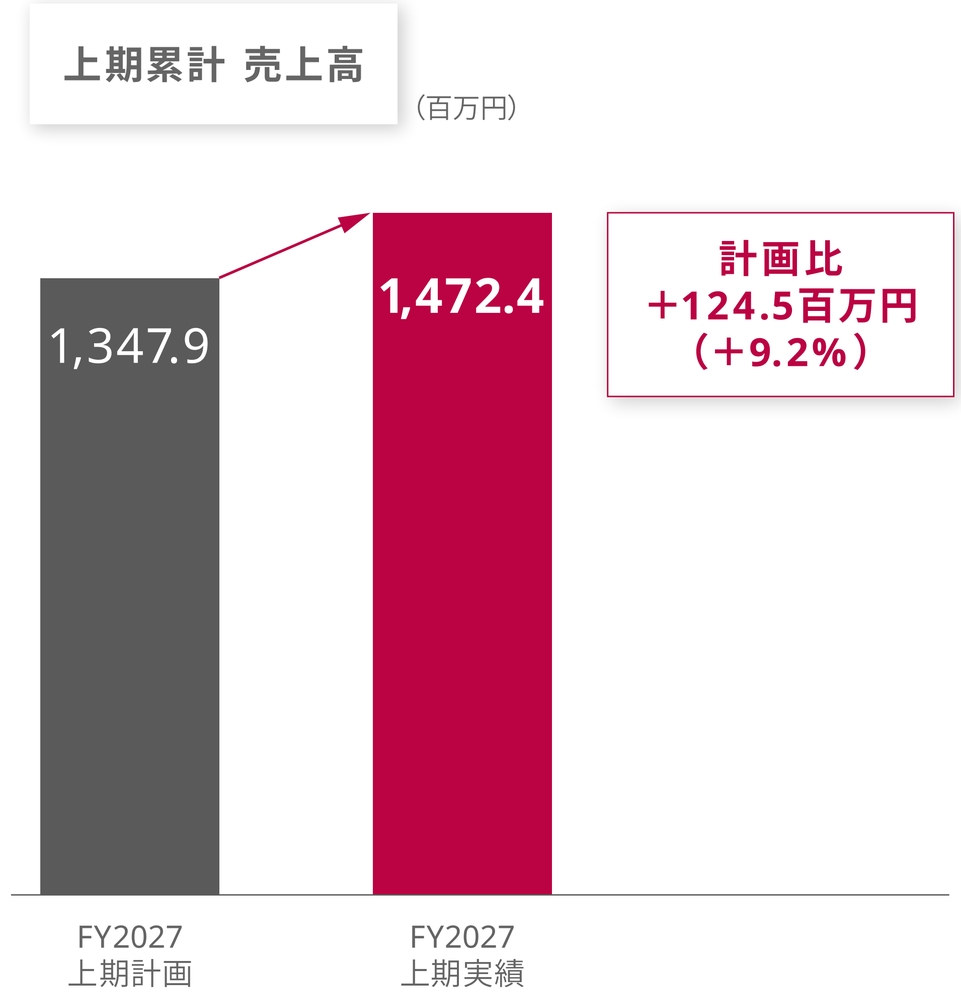
コミックECの再成長で、上期売上は計画を上振れ

上期売上は計画比 ＋9.2%

上期売上高1,472百万円、計画を124百万円超過

上振れ幅は【1Q＋6.5%】【2Q＋11.8%】へ拡大

コミックECの再成長が全社売上を押し上げ



※上半期計画は、2027年3月期の期初に策定した社内予算であり、公表済みの業績予想には含まれておりません。

©2026 TORICO Co.,Ltd.

TORICO

本業の収益力が向上、上期の営業損失は前年より縮小

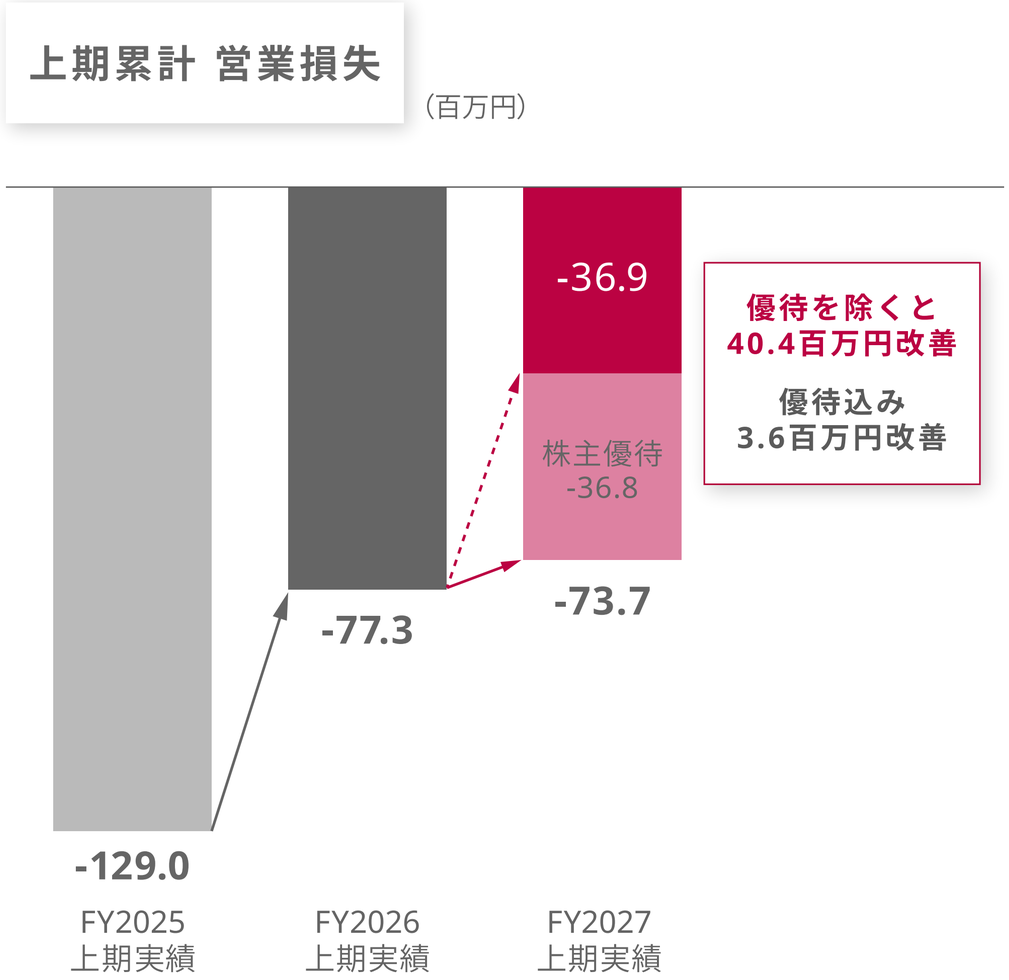
本業の損失は2年で約7割縮小

粗利率は38.0%→40.7%へ改善、利益体質が強化

優待費用を除く営業損失は前年同期の約半分に

一過性の優待費用を含めても前年より損失縮小

本業は上期計画を上回り、通期黒字化へ前進



©2026 TORICO Co.,Ltd.

TORICO

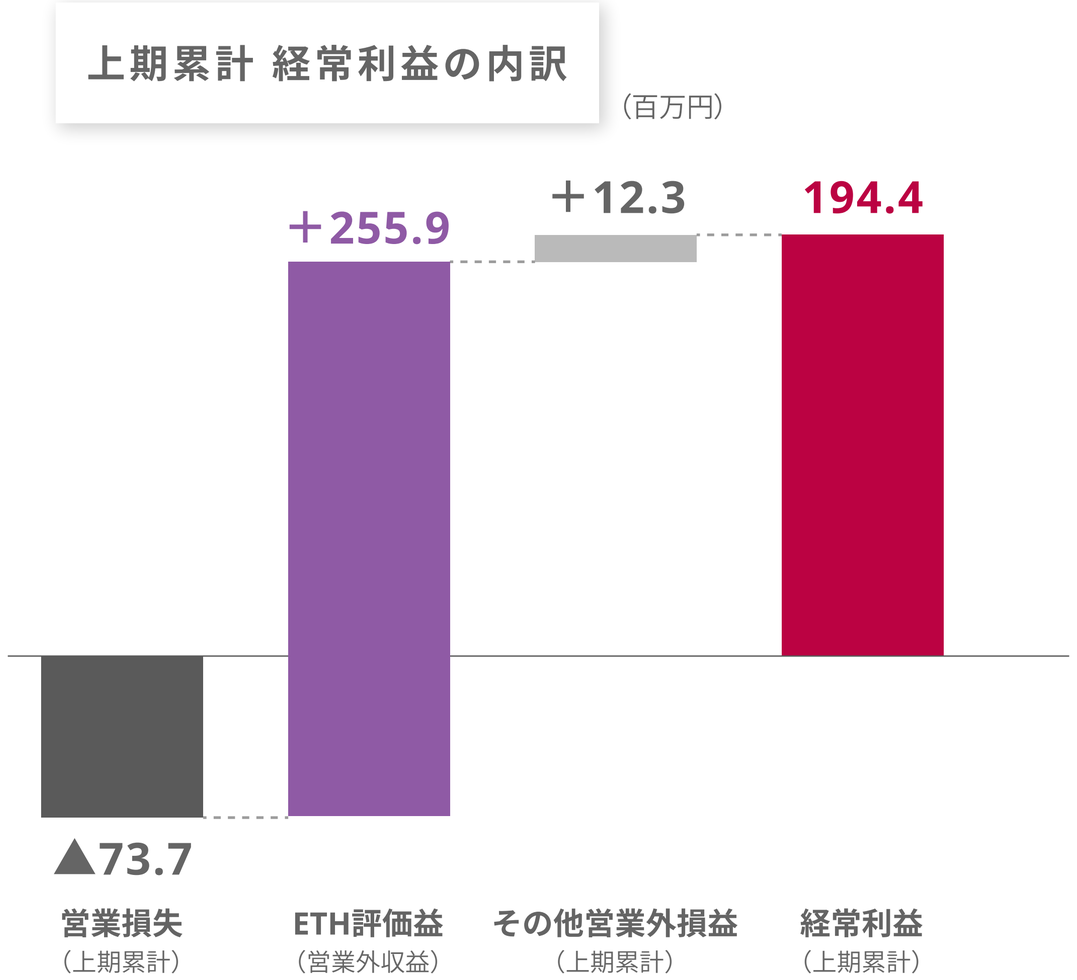
ETH評価益の計上により、上期の経常利益は黒字転換

上期 経常利益 1.9億円超の黒字

ETH価格の回復で評価益2.5億円超を計上

経常利益は前年同期▲76百万円から黒字転換

当期純利益も1.9億円超の黒字を確保



※ETH評価益：保有ETH（暗号資産）の期末時価評価による評価益255,860千円（営業外収益）。
※その他営業外損益：営業外収益（ETH評価益を除く）15.1百万円から営業外費用2.8百万円を差し引いた純額。
※経常利益・当期純利益は2027年3月期第2四半期の連結実績。営業損失▲73.7百万円は株主優待費用36.8百万円を含む。

©2026 TORICO Co.,Ltd.

2027年3月期 第2四半期 連結決算サマリー

- 市場縮小が続く出版業界において、**ECは前年同期比3.8%増とプラス成長を継続**
- **イベントは国内直営店舗が好調**（マンガ展 渋谷が商業施設の上期最優秀店舗賞を受賞）
- 売上総利益の向上により、粗利率は40.7%（前年同期比＋2.7pt）に改善し赤字幅の圧縮へ
- ETH(イーサリアム)の価格回復により**暗号資産評価益255,860千円を計上し、経常・純利益が黒字化**

（単位：千円）	FY2026 上期累計	**FY2027 上期累計**	YoY（前年同期比）	通期業績予想	進捗率
売上高	1,435,120	**1,472,378**	+2.6%	2,910,000	50.6%
EC	1,118,751	1,161,696	+3.8%	2,100,000	55.3%
イベント	316,369	299,653	-5.3%	750,000	40.0%
暗号資産	0	11,029	—	60,000	18.4%
売上総利益	544,893	599,397	+10.0%	1,240,000	48.3%
販売費及び一般管理費	622,210	673,124	+8.2%	1,240,000	54.3%
営業利益	▲77,317	**▲73,727**	+3,590	0	—
経常利益	▲76,332	**194,411**	+270,743	非開示	—
当期純利益	▲84,523	**191,938**	+276,461	非開示	—

©2026 TORICO Co.,Ltd.

2027年3月期 第2四半期 販管費・BS｜サマリー

- 人件費と地代家賃は「選択と集中」の成果で引き続き減少。荷造運賃・支払手数料など売上連動費用は増収に伴い増加
- ETHトレジャリー事業開始記念優待の費用を広告宣伝費で第2四半期に計上
- ETH価格の回復による評価益の計上と追加取得継続により、**暗号資産は前期末比453百万円増加**
- 新株予約権の行使と評価益により純資産が増加し、**自己資本比率は76.8%（前期末比＋4.5pt）に上昇**

販管費

（単位：千円）	FY2026 上期累計	**FY2027 上期累計**	YoY(前年同期比)
人件費	218,455	215,697	-1.3%
オンラインショップ運営費	84,535	89,006	+5.3%
荷造運賃	74,720	80,532	+7.8%
支払手数料	47,326	53,348	+12.7%
地代家賃	58,444	56,776	-2.9%
支払報酬	21,747	30,007	+38.0%
広告宣伝費	14,371	53,039	+269.1%
その他	102,613	94,719	-7.7%
販管費合計	622,210	**673,124**	+8.2%
対売上販管費比率	43.36%	**45.72%**	

BS

（単位：千円）	2026年3月末	**2026年9月末**	前期末比増減額
流動資産	1,358,563	**1,363,340**	+4,777
現金及び預金	660,604	555,168	-105,436
売掛金	215,686	223,205	+7,519
商品	435,735	476,490	+40,755
固定資産	881,414	**1,333,401**	+451,987
暗号資産	826,198	1,279,283	+453,085
総資産	2,239,977	**2,696,742**	+456,765
負債	605,010	**609,543**	+4,533
買掛金	186,306	217,391	+31,085
有利子負債	162,683	114,183	-48,500
純資産	1,634,967	**2,087,198**	+452,231
自己資本比率	72.3%	**76.8%**	+4.5pt

©2026 TORICO Co.,Ltd.

業績ハイライト（2027年3月期 第2四半期）

▶ 各事業の状況

成長戦略

業績予想（2027年3月期）

Appendix

3事業すべて前進、本業の稼ぐ力と資産価値が共に向上

コミックEC

2Q営業利益（計画比）

＋44%

65.9百万円（計画45.7百万円）

- 紙の出版市場が前年同期比▲2.6%の中、2Q売上は前年同期比**＋5.5%**
- 話題作の在庫確保で購買率**1.22%**（前年同期比＋0.15pt）

イベント

国内直営1店舗あたり売上（2Q）

約3.1倍

43百万円で過去最高（前年同期14百万円）

- 国内直営店舗を**5店→2店**に絞り込み、1店舗あたりの収益力が大きく向上
- 台湾でファンミーティングを**2回開催**、配信チケットも収益化

暗号資産（ETH）

連結経常利益（上期累計）

1.9億円

前年同期▲76百万円から黒字転換

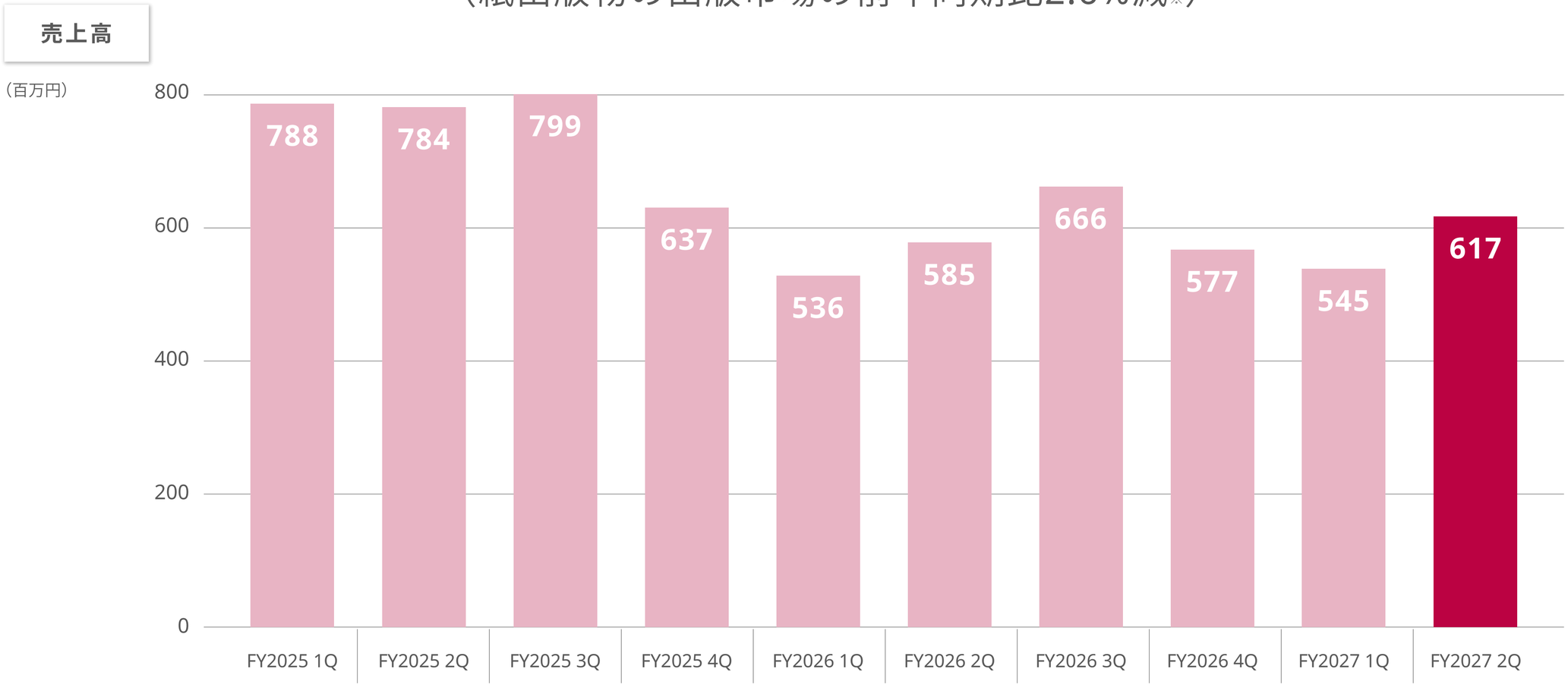
- 保有ETHは**3,026ETH**まで積み上げ
- 1,000株あたりETHは0.1795ETH（前四半期比**＋3.45%**）

※コミックECの営業利益は社内管理上の事業別損益（本社費配賦前）、計画は期初社内予算（2Q・7-9月）。国内直営店舗あたり売上はEC売上を除く。出版市場は出版科学研究所『季刊出版指標 2026年秋号』。
1,000株あたりETH＝四半期末保有ETH÷発行済株式数（自己株式控除後）×1,000。

©2026 TORICO Co.,Ltd.

マンガ事業（ECサービス）| サービス別売上高

FY2025 4Qから利益重視の営業方針を継続しつつ、**前年同期比5.5%増**
（紙出版物の出版市場の前年同期比2.6%減※）

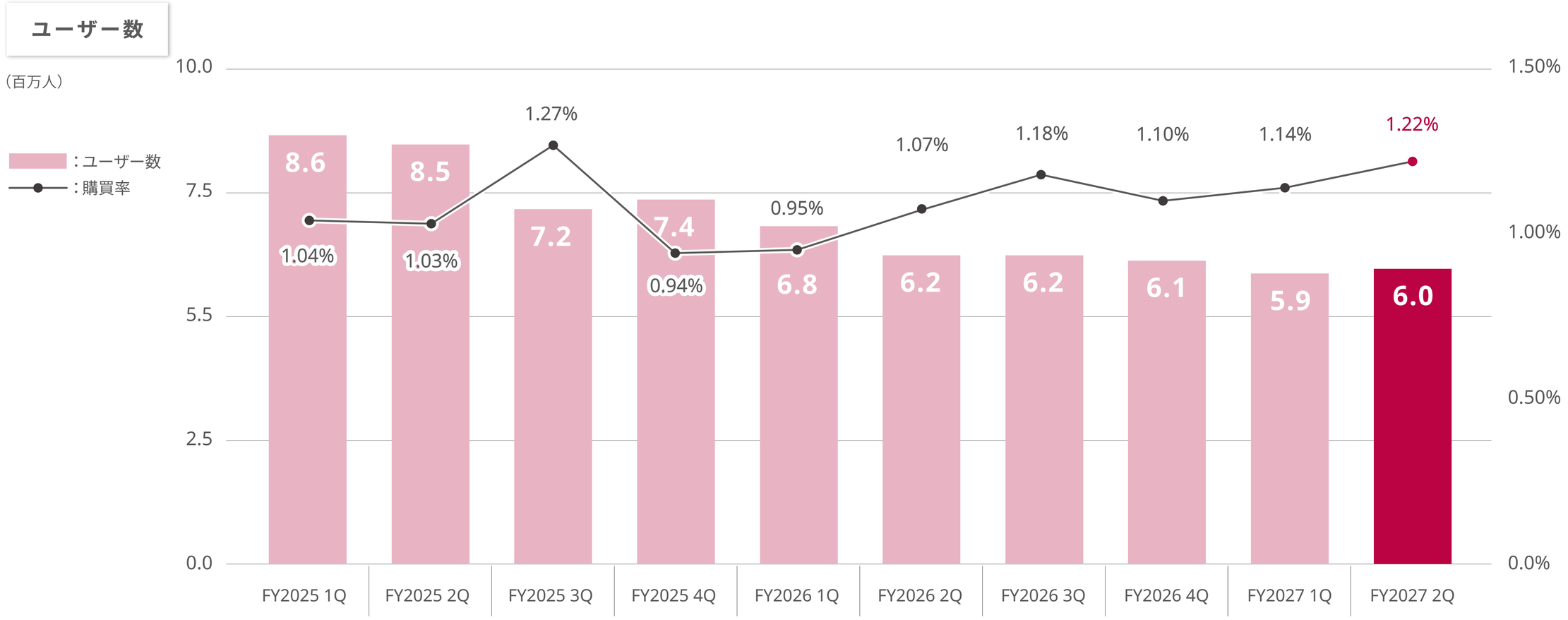


※公益社団法人全国出版協会・出版科学研究所『季刊出版指標 2026年秋号』より引用

©2026 TORICO Co.,Ltd.

マンガ事業（ECサービス）｜ユーザー数／購買率

約1年10か月ぶりとなる新刊発売『HUNTER×HUNTER』やアニメーション映画大ヒット『ちいかわ』原作コミック等
品切れを起こさない在庫力で話題作の需要を確実に取り込み、**購買率が上昇**



※過去実績は閉鎖済みサービスの利用ユーザー数も含む。海外からの購入目的外アクセス増により国内ユーザーに限定

©2026 TORICO Co.,Ltd.

マンガ事業（ECサービス）| 重要指標

利用者数	600万人	前年同期比 -4.3%	現営業方針での利用水準を維持
購買率	1.22%	前年同期比 +0.15pt	市場需要の高い在庫供給による優位性により購買率が上昇
購買単価	7,719円	前年同期比 -2.5%	コミックセット以外の特装版単巻の需要高く若干減少
売上高販売促進費率	4.71%	前年同期比 +0.05pt	前年同期比で微増も想定値内でコントロール

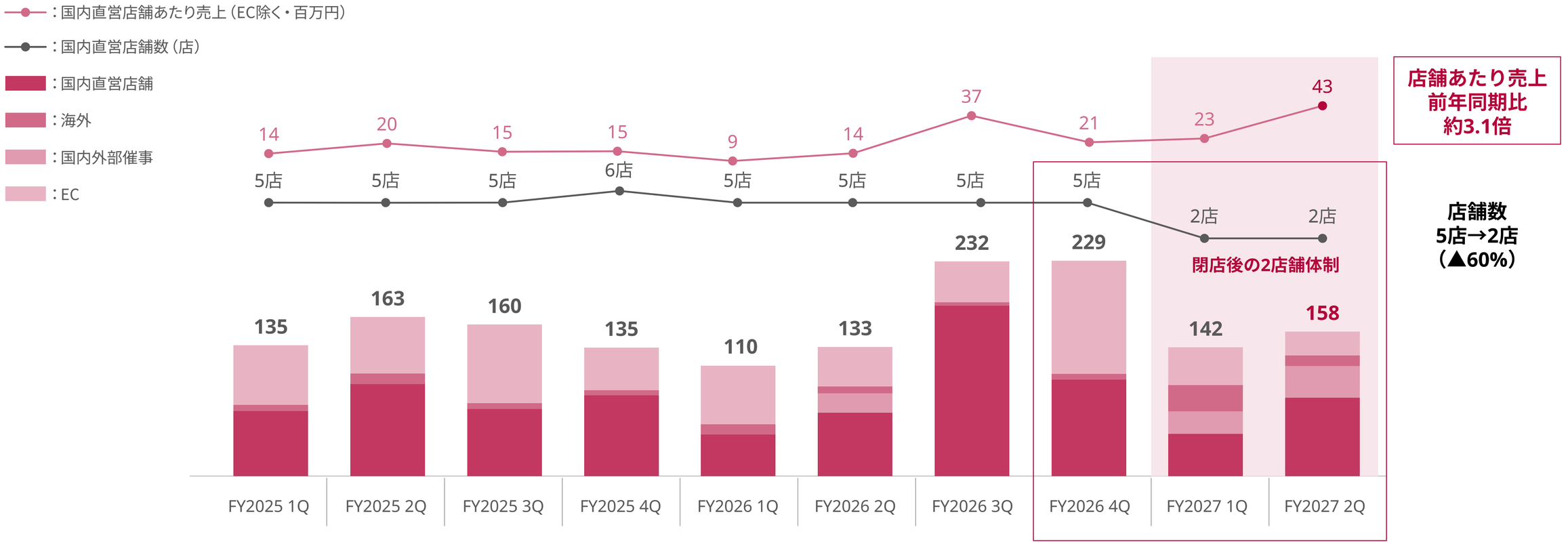
©2026 TORICO Co.,Ltd.

マンガ事業（イベントサービス）| サービス別売上高

国内直営店舗を5店から2店に絞り込むなか、四半期売上は**前年同期比18.8%増**

1店舗あたり売上は過去最高の43百万円に上昇

（売上高：百万円）



店舗あたり売上
前年同期比
約3.1倍

店舗数
5店→2店
（▲60%）

©2026 TORICO Co.,Ltd.

マンガ事業（イベントサービス）| 重要指標

国内

146百万円

前年同期比
-9.9%※

店舗閉鎖等により全体売上は前年同期を下回るも、1店舗あたり売上高は過去最高を更新し、継続事業売上は前年同期比18.8%増

※2026年3月期中にマンガ展 池袋、マンガ展大阪の閉店、マンガ展渋谷の区画減あり
※前年同期実績に前期末終了サービス売上含む

海外

11百万円

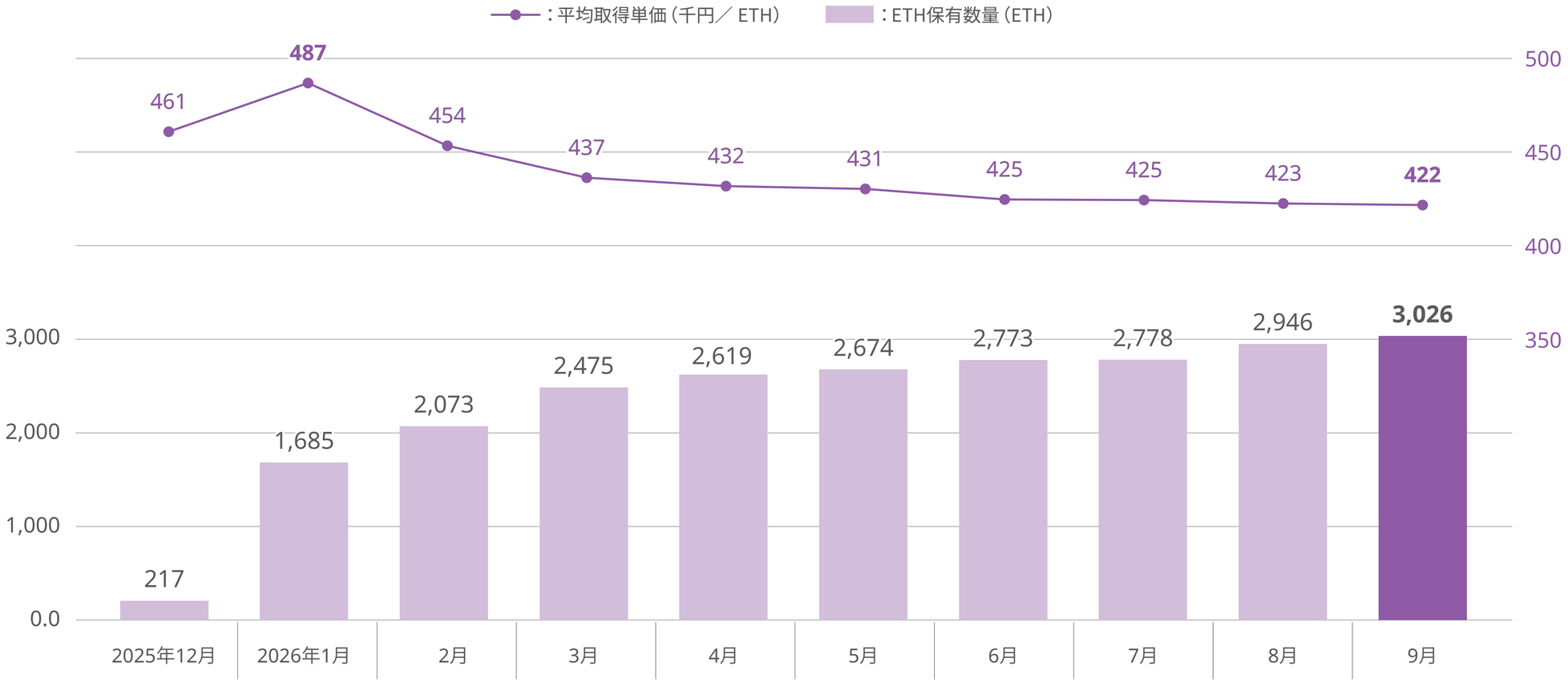
前年同期比
+32.0%

台湾でのリアルファンミーティング開催に加え、配信チケット販売による収益化を実現。新たな収益チャネルの開拓により成長を促進

©2026 TORICO Co.,Ltd.

暗号資産事業｜ETH取得状況

2025年12月のETH取得開始以降、**着実にETH購入を継続**
ターゲットバイイング戦略を絡め**プレミアム収益を獲得しつつ平均取得単価も抑制**



©2026 TORICO Co.,Ltd.

暗号資産事業｜ハイライト

売上高	11,029千円	保有するETHに対する国内ステーキング報酬を売上に計上。
ETH保有量	3,026ETH	1,000株あたりETHは0.1795 ETH（前四半期比+3.45%）。 新株予約権の行使による株式数の増加を上回るペースでETHを積み上げ。 ※1,000株あたりETH＝四半期末保有ETH÷発行済株式数（自己株式控除後）×1,000。
平均取得単価	422千円	新株予約権の行使資金を原資に約239 ETHを平均約393千円で買い増し、 平均取得単価は425千円から422千円に低下。
累計取得価額	1,277百万円	9月末時点の時価は取得価額とほぼ同水準まで回復。引き続き戦略的に ETH取得を進めるとともに、運用によって保有するETH枚数を増やす。

※2026年9月30日時点の各数値を記載。最新の保有状況や過去実績は暗号資産ダッシュボード（https://www.torico-corp.com/ir/eth-dashboard/）から確認可能です。

©2026 TORICO Co.,Ltd.

業績ハイライト（2027年3月期 第2四半期）

各事業の状況

▶ **成長戦略**

業績予想（2027年3月期）

Appendix

FY2027 成長戦略

1 既存事業の収益化

2 海外事業の拡大

3 暗号資産事業の進展

©2026 TORICO Co.,Ltd.

コミックECの利益が計画を大幅に超過、収益基盤を強化

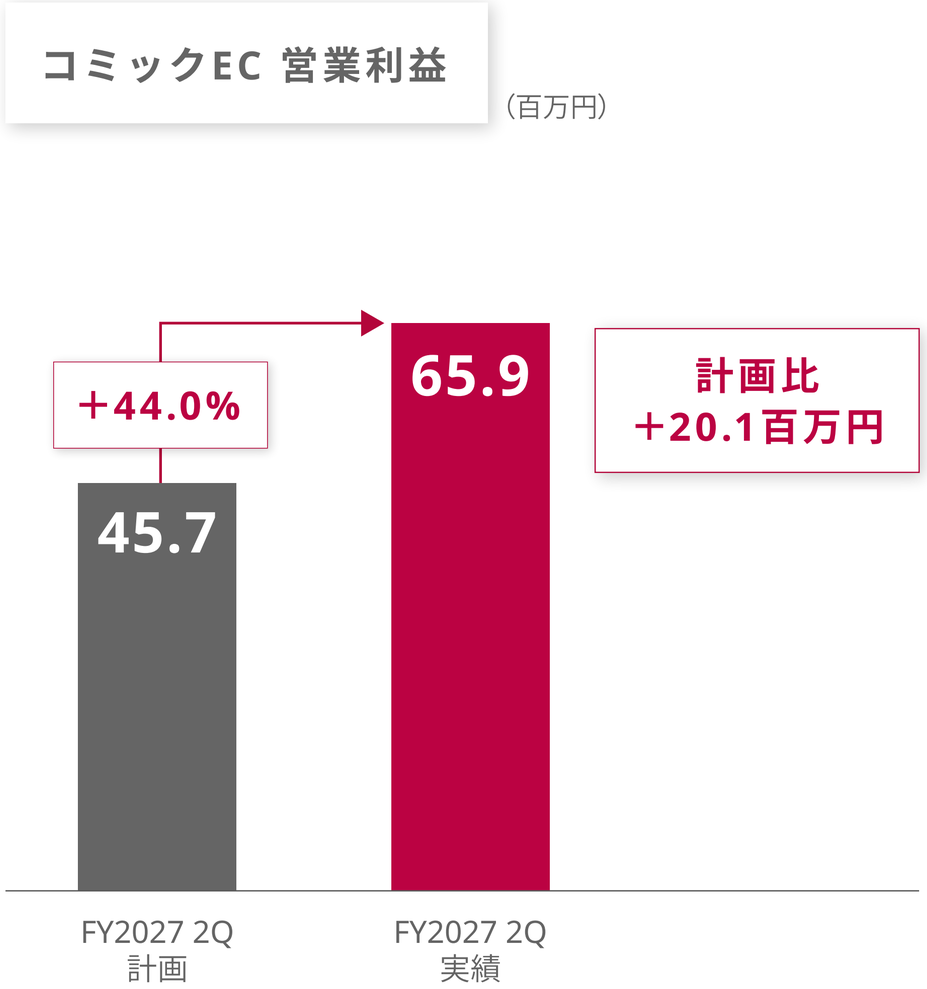
コミックEC営業利益
計画比＋44%

2Q営業利益65.9百万円、計画を20.1百万円超過

売上も計画比＋5.8%と上振れ、増収が利益に直結

営業利益率は10.7%と計画（7.9%）を上回る

主力事業の収益基盤が着実に強化



※コミックEC＝社内管理上の事業別損益（本社費配賦前）。計画＝期初社内予算（2Q・7-9月）。

©2026 TORICO Co.,Ltd.

台湾でファンミーティング2回目を開催、興行モデルの再現性を確認

海外ファンミーティング 台湾2回目開催

8/29 台北でドラマ「フェイクファクトリップス」ファンミーティングを開催（4月に続く当社台湾興行2回目）

VIP席完売、ライブ配信の活用により収益機会を拡大

台北MRT台北駅・地下1階商業施設「Metro Corner | atre 台北駅店」にてポップアップショップを展開

興行・配信・物販と収益源を多角化







ドラマ「フェイクファクトリップス」ファンミーティング in 台湾
2026年8月29日・台北

©2026 TORICO Co.,Ltd.

急拡大するグローバルBL市場

グローバルBL市場の急拡大

想定市場規模

3,000億円+※

●アジアを中心とする「BL」ブーム

BL（ボーイズラブ）は、書籍・マンガ・アニメ・ドラマ・グッズを含む一大エンタメ領域へ。中華圏だけでも市場規模は数千億円規模に

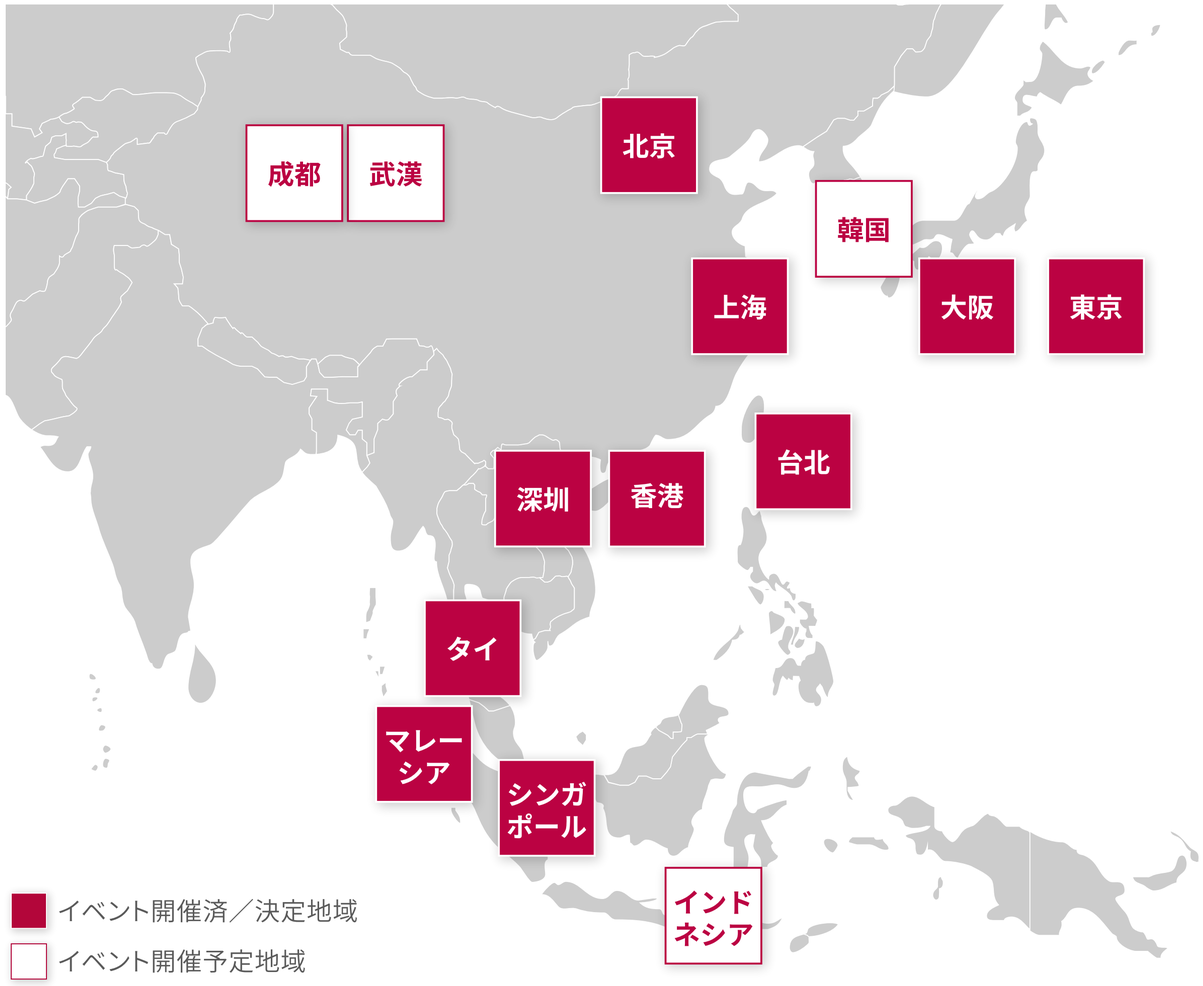
●日本発BLドラマのグローバルヒット

日本発のBLドラマが動画コンテンツとして世界80カ国以上に配信・拡散。配信プラットフォームやSNSを通じて国境を越えて視聴される巨大なファンダムを形成

●当社は世界最大級のBLファンダムを有するプラットフォーマー

当社は長年にわたりBLファンとの接点を積み上げ、10万人を超えるファンダムを構築。急拡大するグローバルBL市場において、コンテンツ・グッズ・イベントを横断的に展開できるポジションを確立

※当社推計。矢野経済研究所「オタク市場に関する調査」（国内BL市場）、SCB EIC推計（タイYシリーズ市場：2025年 約49億バーツ）、智研咨詢等（中国耽美文学市場：100億元超）ほか第三者調査および自社調べに基づき、BL関連コンテンツ（書籍・映像・グッズ・イベント等）の世界市場を合算・推計



©2026 TORICO Co.,Ltd.

当社における国内外BLファン向けイベント企画例

BLコミック



















BLドラマ



















©2026 TORICO Co.,Ltd.

「稼ぐトレジャリー」の運用手段を多様化

ステーキング・オプションに**ETH建てファンドを加えた3つの手段**で保有ETHを増やす

当社保有ETH
2026年9月30日時点
3,026ETH～

実施中：FY2026/4Q～

1 国内ステーキング

持っているだけで増える：
ネットワークの運営に参加し、
報酬をETHで受け取る

実績利回り（年率換算）
2.06%
直近6か月平均※1

実施中：FY2027/1Q～

2 ターゲットバイイング

有利な価格で買い増す：
オプション収入を得ながら、
目標の価格でETHを取得する

収益
オプション報酬
営業外損益に計上

NEW：FY2027/3Q～

3 ETH建てヘッジファンド

相場に左右されずに増やす：
専門の運用会社の裁定取引で、
成果をETHで受け取る

想定利回り（年率換算）
5%～
マーケットニュートラル戦略

※1 当社での国内ステーキング6か月（2026年4～9月）平均実績値。

©2026 TORICO Co.,Ltd.

なぜETH建てファンドに出資するのか

保有ETHの一部を専門の運用会社に預け、**ETHの価格に依存せずETHの枚数を増やす**

1 出資はETHのまま

保有ETHをそのまま出資。円やドルに換えず、ETH建てで運用を委託

2 価格変動を抑えて運用

現物と先物を組み合わせて価格変動の影響を抑え、取引所間の価格差や先物の資金調達率（ファンディングレート）などから収益を得る

3 成果もETHで受け取る

運用成果はETHで分配・償還。ETHの保有枚数そのものが増える

この仕組みで得られること

相場の上下に左右されにくい

上昇局面でも下落局面でも収益機会を追求できるマーケットニュートラル戦略

ETH建てで成果が積み上がる

出資から償還まで一貫してETH建て。成果がそのまま保有枚数の増加につながる

専門運用会社のノウハウを活用

複数の取引所・DeFi・CMEを横断する運用を、実績ある外部の専門家に委託

※本資料は運用成果を保証するものではありません。ファンドの詳細は2026年8月13日付および10月21日付の各お知らせをご参照ください。

©2026 TORICO Co.,Ltd.

新たなETH建てヘッジファンドに出資決議、戦略の異なる2本に分散投資

ETH建てファンド 2本体制へ



第1号ファンド（Hyperithm）に続き、Edge Capital運用の ETH建てヘッジファンドへの出資を決議

ETH建て運用・相場急変期の実績・流動性・ガバナンスを軸に15超ファンドから選定し、2本に分散

運用状況を見ながら追加出資・新規出資を検討し、ETH建て運用を段階的に拡大

ファンド名称	Edge DeFi Offshore Fund, Ltd.
組成地	ケイマン諸島
アドバイザー	Edge Capital Investment Management Ltd.
事業内容	暗号資産のマーケットニュートラル運用 （ベーシス・トレーディング等の裁定取引）
出資金額	当社保有ETHを原資とする出資 （500,000 米ドル相当のETH ※日本円換算79百万円）

※詳細については2026年10月21日付「ETH 建てヘッジファンド（Edge DeFi Offshore Fund, Ltd.）への出資に関するお知らせ」をご参照ください。

©2026 TORICO Co.,Ltd.

国内ステーキング vs ETH建てファンド出資

260ETH※1を1年運用した場合、ETH建てファンドは国内ステーキングより約8〜12ETH多く増える試算

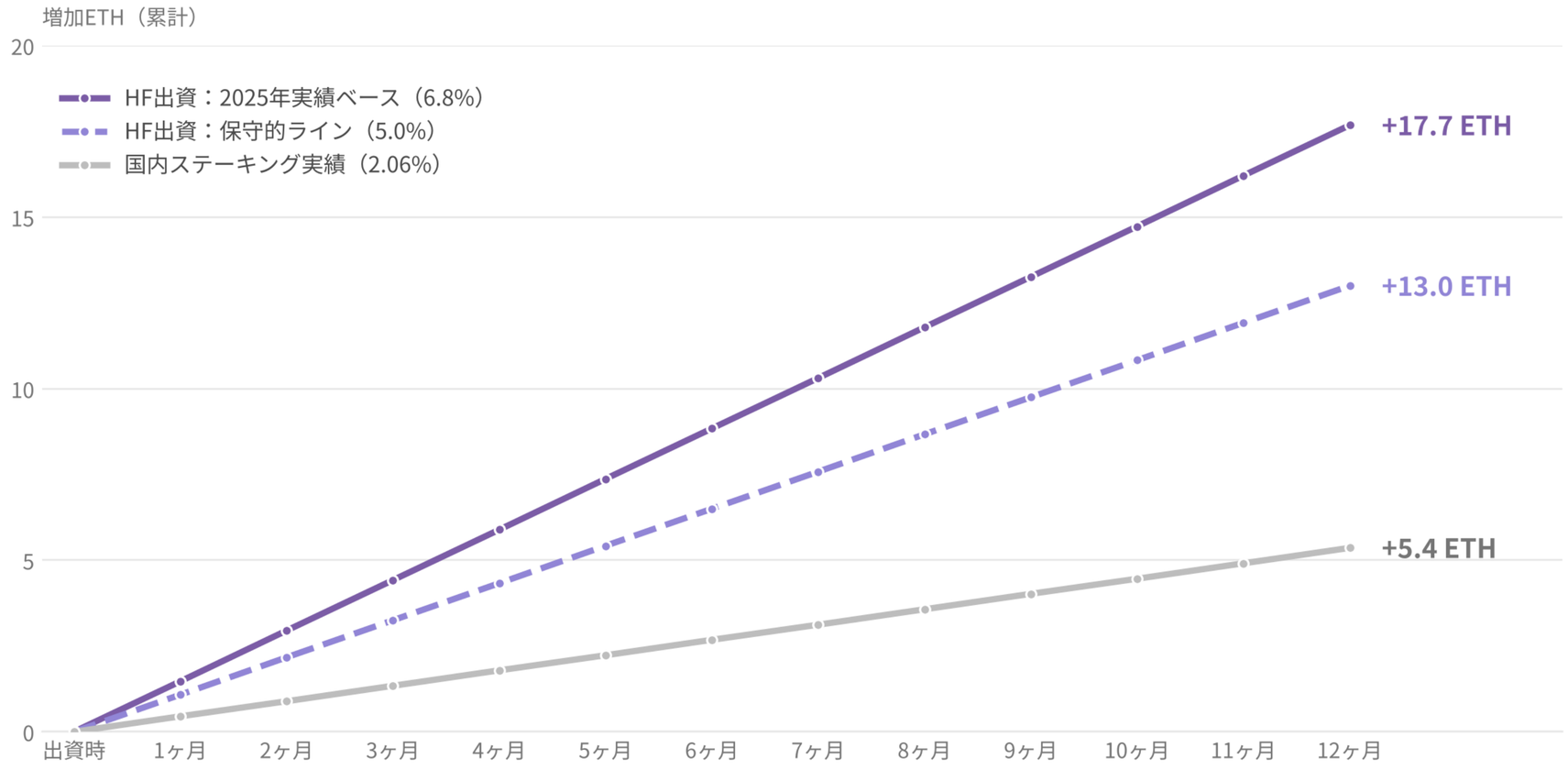
国内ステーキング実績利回り
2.06% ※2

1年後…
265.4ETH(+ 5.4ETH)

VS

ヘッジファンド出資想定利回り
（保守的ライン~2025年実績）
5.0~6.8% ※3

1年後…
273.0~277.7ETH
(+13.0~17.7ETH)



※1 第1号、第2号ファンドへ初回出資予定ETH総額
※2 当社での国内ステーキング6か月（2026年4〜9月）平均実績値
※3 ETHヘッジファンドでの想定利回り値、※4 本資料は運用成果を保証するものではありません

©2026 TORICO Co.,Ltd.

業績ハイライト（2027年3月期 第2四半期）

各事業の状況

成長戦略

▶ 業績予想（2027年3月期）

Appendix

TORICO

利益は下期に集中する傾向、今期は本業損失を半減させて繁忙期へ

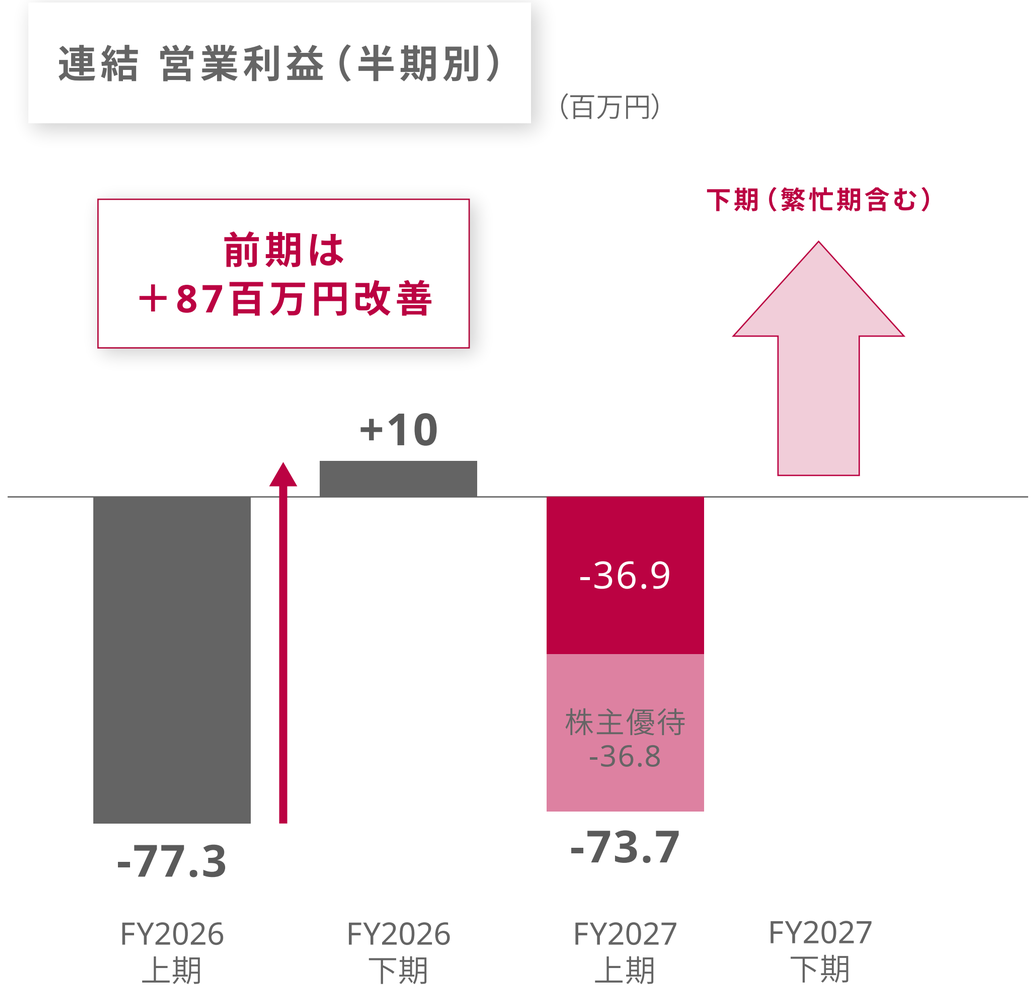
前期並みの下期改善で本業は黒字圏へ

前期(FY2026)は上期から下期にかけて87百万円の改善

- コミックEC事業の12月売上は上期平均の約1.6倍
- イベント事業は年間売上の約6割が下期に集中

今期上期の本業損失は-37百万円と、前年同期から半減

この収支構造で繁忙期を迎え、通期の収益改善を図る



©2026 TORICO Co.,Ltd.

TORICO

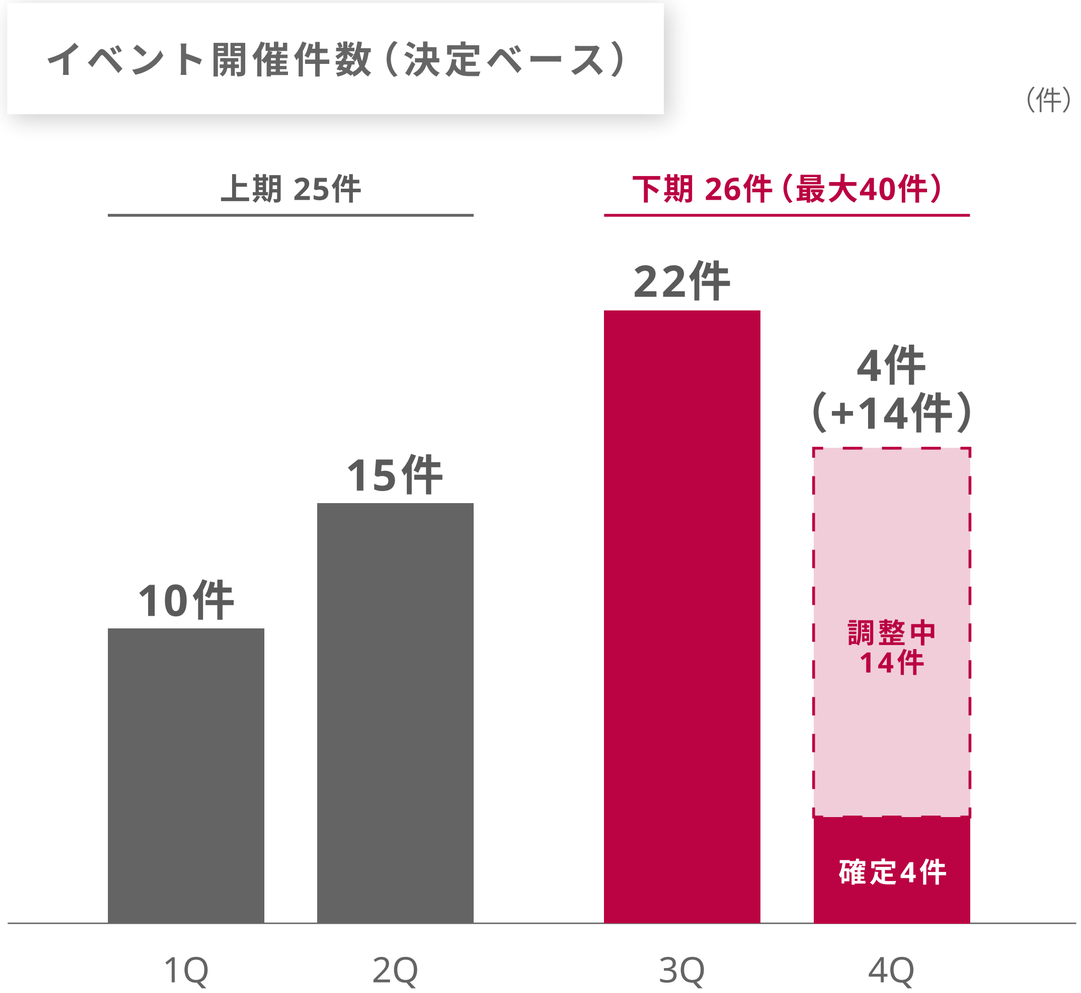
下期は最大40件のイベントを計画、開催件数の積み上げで通期予想達成へ

下期のイベント開催数
上期の最大1.6倍

3Qだけで上期（25件）に迫る22件の開催が決定済み

4Qの確定分と合わせ、下期は決定済みだけで26件と上期を上回る計画で進行中

調整中の14件を含めると最大40件、**開催件数の積み上げで下期の収益取り込みを図る**



※件数は2026年10月時点で開催を決定したイベント（催事・ファンミーティング等）の本数。

©2026 TORICO Co.,Ltd.

2027年3月期 通期連結業績予想/進捗

- 売上高は期初計画を上回って推移。年末繁忙期を含む第3四半期で着実な売上・利益の上積みへ。
- ETHトレジャリー事業開始記念優待の費用は第2四半期で計上済み（下期の発生なし）
- ETHの期末時価評価による影響が大きく、合理的な数値の算定が困難であるため、経常利益以降の予想は非開示

売上高予想

2,910百万円

第2四半期累計実績

1,472百万円

進捗率

50.6%

経常利益予想

非開示

第2四半期累計実績

194百万円

進捗率

— %

営業利益予想

0百万円

第2四半期累計実績

▲73百万円

進捗率

— %

当期純利益予想

非開示

第2四半期累計実績

191百万円

進捗率

— %

©2026 TORICO Co.,Ltd.

業績ハイライト（2027年3月期 第2四半期）

各事業の状況

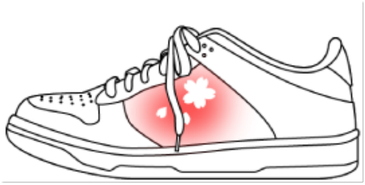
成長戦略

業績予想（2027年3月期）

▸ Appendix

株式会社TORICO沿革

2005年	オリジナルスニーカーの製造販売で創業
2006年	漫画全巻ドットコム開始
2015年	Horin Love Books事業譲受
2016年	まんが王事業譲受
2016年	マンガ展開始（国内外展開）
2022年	東証マザーズ上場
2025年	暗号資産事業開始・TORICO Ethereum立ち上げ



漫画全巻ドットコム

Horin Love Books

MANGAOH まんが王

マンガ展

TORICO Ethereum

©2026 TORICO Co.,Ltd.

独自性を有する3事業による中長期的な企業価値の向上

コミックEC事業

漫画全巻ドットコム
Horin Love Books
まんが王

安定した収益性を起点とした再成長戦略

倉庫効率、広告費改善を通じ、収益性を維持しながら持続的な成長を実現

イベント事業

マンガ展

10万人超のBLファンダムを基盤に、海外展開による事業規模拡大

国内で構築したファンダム基盤を活用し、IP展開の拡大と海外市場の開拓を推進

暗号資産事業

TORICO Ethereum

資産効率の最大化と事業価値向上

ETHの運用にとどまらない暗号資産活用領域の拡大

©2026 TORICO Co.,Ltd.

市場停滞の中でも漫画全巻購入需要を捉え会員数増加を継続

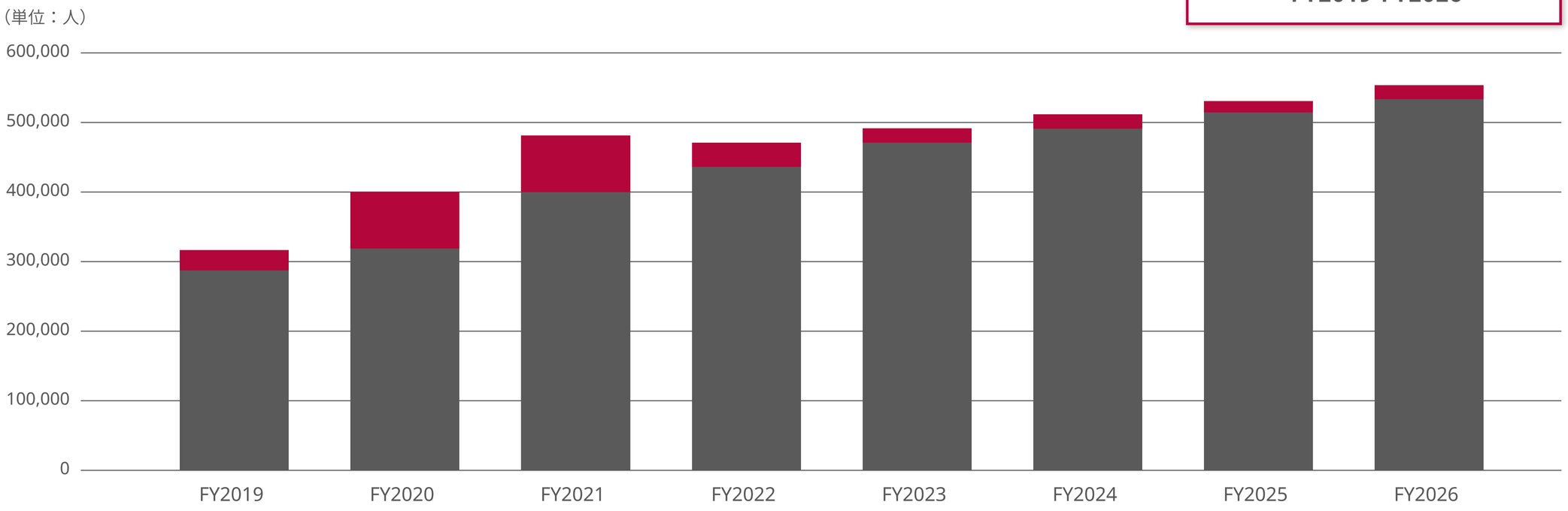
会員数

漫画全巻ドットコム

会員増加率（CAGR）

7.6%

FY2019-FY2026



＊会員登録後、実際に購入を行なったユーザー数

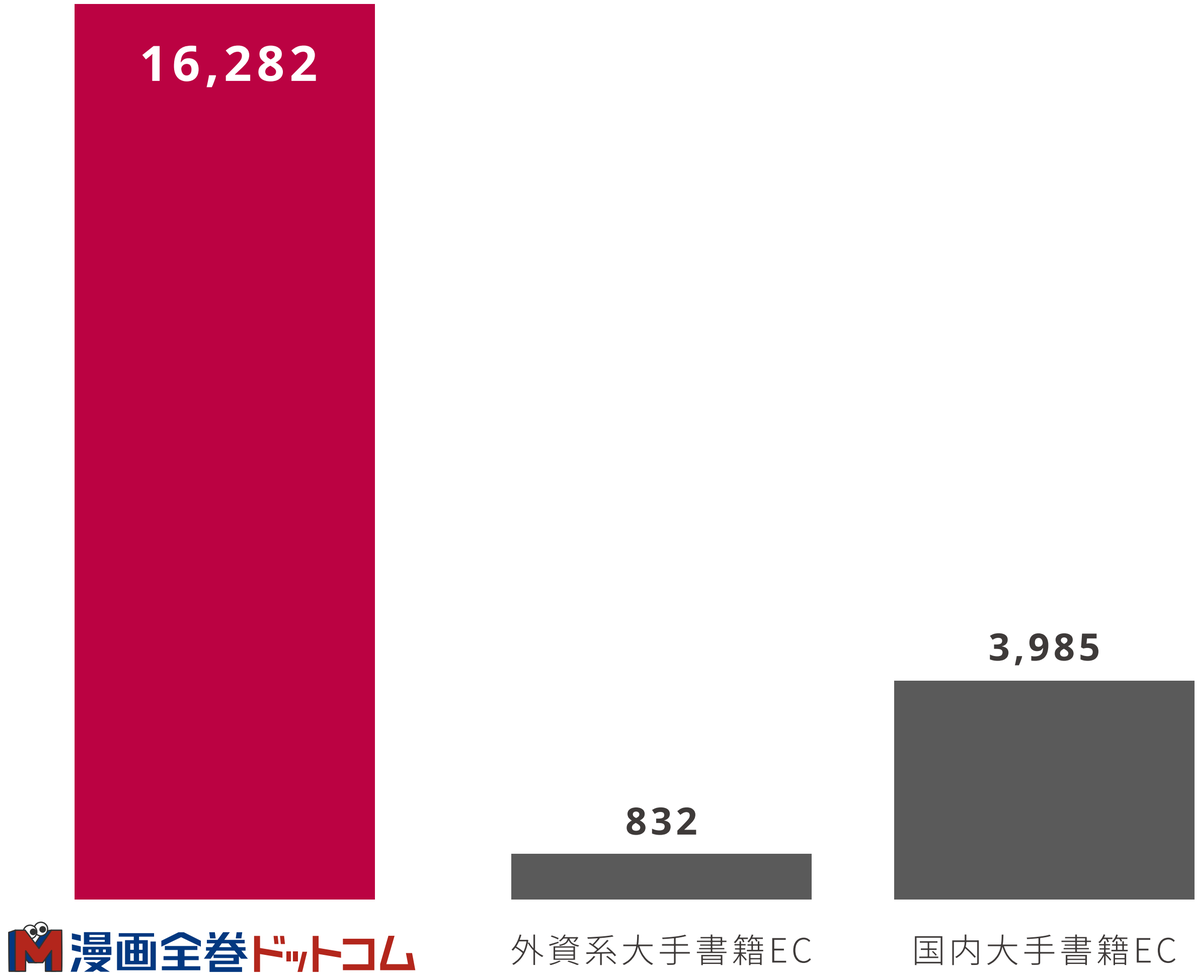
©2026 TORICO Co.,Ltd.

コミック全巻セットの品揃えによる差別化

購入可能コミック全巻セット作品数

16,282

2026年3月末時点



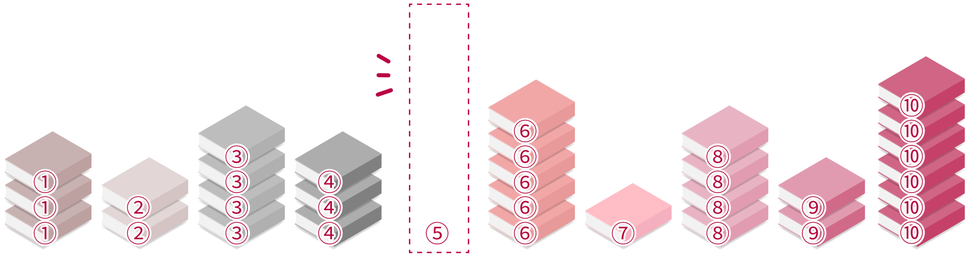
©2026 TORICO Co.,Ltd.

一般的なECとは異なる「セット化」に特化した倉庫運用

一般EC　「単品商品を単品として販売」を最適化

単品商品として入荷

同一作品内で欠巻があっても全ての在庫が販売可能

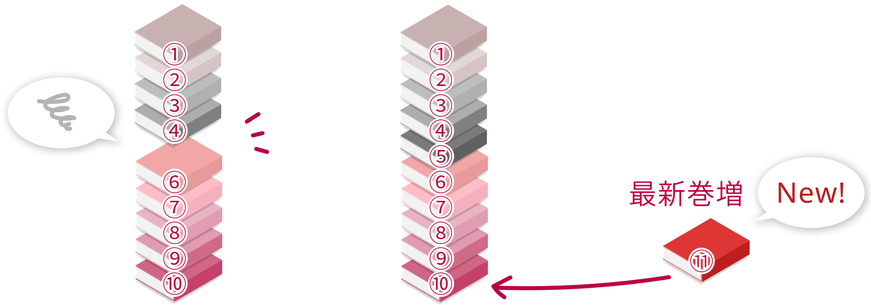


単品商品として出荷

漫画全巻ドットコム　「単品商品をセット化して販売」を最適化

単品商品として入荷

1巻から最新巻までを均等に揃える必要がある



欠巻あり≠商品　　全巻＝商品

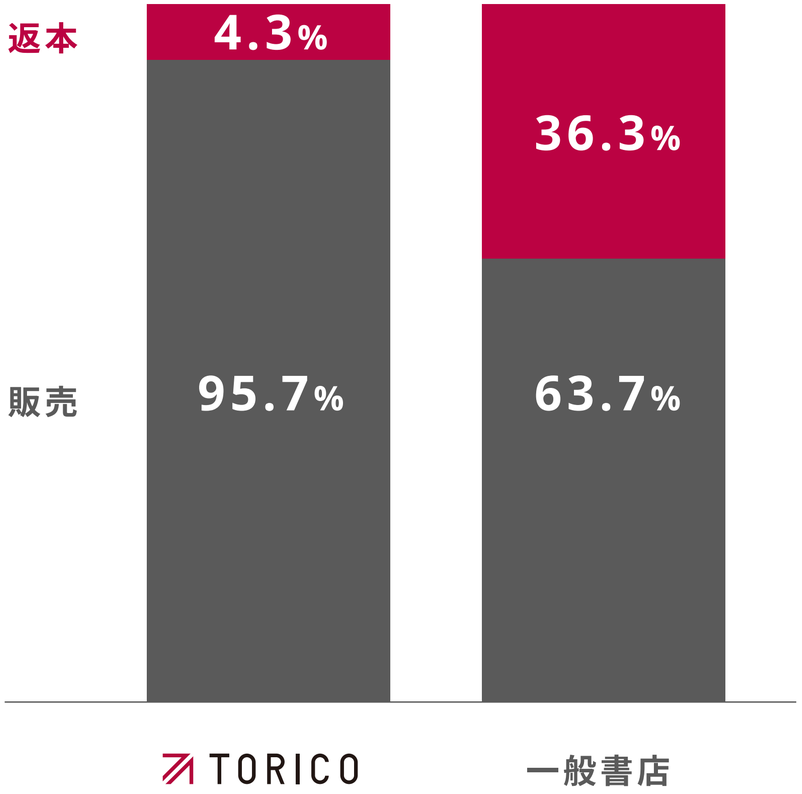
セットで出荷

「個別」「セット」の共存は非効率

©2026 TORICO Co.,Ltd.

低返本率による豊富な品揃えの実現

返本率* 当社返本率は一般書店の1/8以下



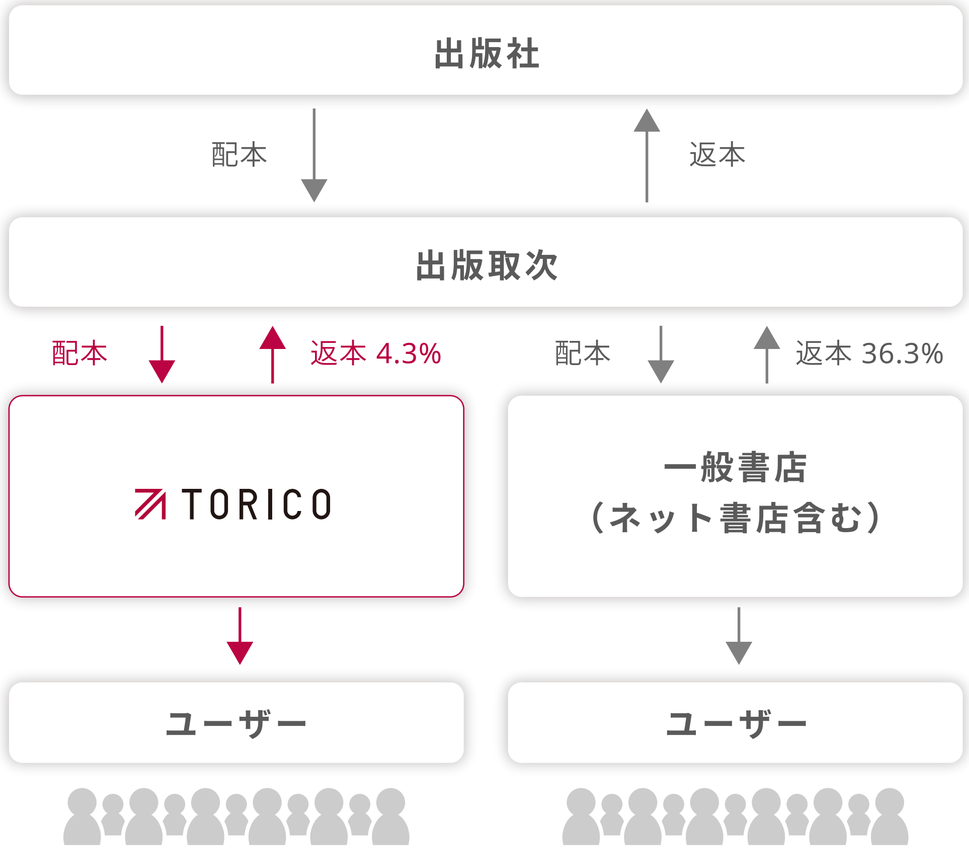
* 当社返本率：2023年3月期当社実績
一般書店返本率：日本出版販売株式会社 2022年度 上半期決算報告

商流図 返本率、販売数が人気作品の配本数に影響

返本リスク＝出版社
返本物流コスト＝取次
の負担が一般的

返本率、販売量が
反映された配本数

人気作品から名作まで
豊富な在庫を確保・販売

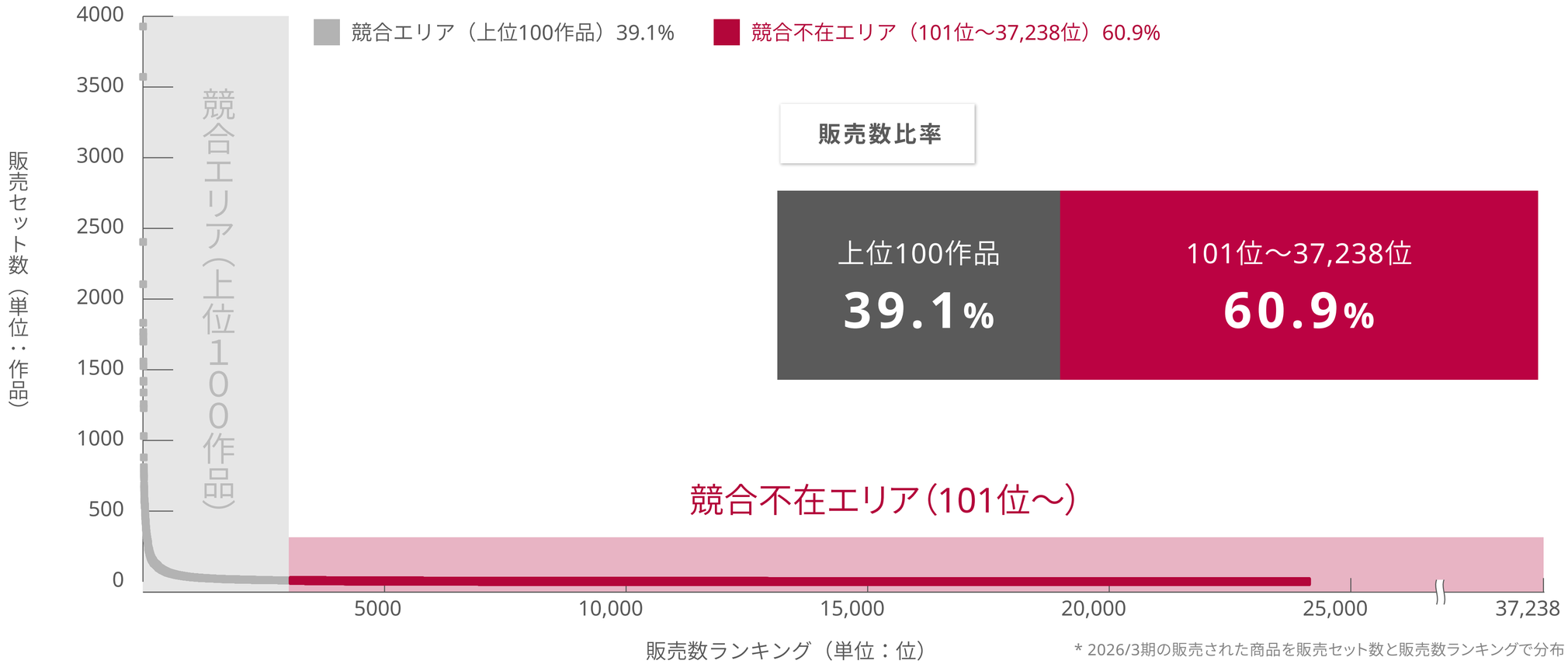


©2026 TORICO Co.,Ltd.

ロングテール戦略により増え続ける競合不在エリアを深耕

販売数散布図*

漫画全巻ドットコム



販売数比率

上位100作品	101位～37,238位
39.1%	60.9%

* 2026/3期の販売された商品を販売セット数と販売数ランキングで分布

©2026 TORICO Co.,Ltd.

TORICO

差別化されたイベント企画と海外展開

コミック原作×実写ドラマ化作品を中心に独自性のあるイベントの実施拡大









強み・差別化

展開ジャンルを拡大				アジア圏にイベントを拡大
	集客力の高い企画	集客力の高い店舗立地	実写ドラマ化作品イベントの企画実績と運営能力	国内イベント巡回
	社内外ディレクション	企画・製造・販売を自社で完結	同時複数イベント開催による収益最大化	
	市場需要と連動し売上最大化	各放映クール内での商品販売開始、出演者協力の告知販促によるイベント展開を実現		東アジアでの開催
「配信者・ゲーム実況者企画」 「アニメ」 「キャラクター」	都市部旗艦店＋WEBへの注力	東京・渋谷	大阪・天王寺 WEB通販	東南アジアでの開催

©2026 TORICO Co.,Ltd.

グローバルパートナーシップによるアジア地域の販路拡大

現地パートナーとの連携により、アジア主要都市でのコラボカフェ・物販事業を継続展開。
海外現地で当社主催イベント開催も可能な体制を整備し、国内クオリティの催事を海外でも展開可能。

国内開催

海外展開

コンテンツホルダー

IP許諾 ロイヤリティ

TORICO イベント企画＋グッズ自社製造

IP許諾 ロイヤリティ

現地パートナーと連携し海外でのコラボカフェ・グッズ販売を実施

暁 AKATSUKI 北京／上海／深圳／成都／武漢

INCUBASE STUDIO 香港／台湾／韓国／マレーシア／タイ

甲上娛樂 applause 台湾

TORICO

海外自社店舗　自社主催イベント

コラボカフェ運営／グッズ販売　売上

現地マンガ・アニメファン

現地パートナーとの連携よりスピード、利益率を両立



×

当社主催イベント(ファンミーティング等)を海外現地で展開



×

自社店舗保有によりアジア市場における
ブランドの認知向上とプレゼンス強化



©2026 TORICO Co.,Ltd.

経産省「エンタメ・クリエイティブ産業戦略2026」海外売上高20兆円へ

経済産業省

エンタメ・クリエイティブ産業戦略2026

～海外売上高20兆円に向けた「ものがたり大国5か年計画」～

2026年8月20日 公表

経済産業省が2026年8月20日に公表

2024年6.1兆円→2028年10兆円→2033年20兆円

民間の「売上3倍・投資3倍」を促進

3本柱と5大構造改革でIP価値を最大化

重点分野	戦略2026が掲げる目標・施策
マンガ	**「海賊版を叩き、正規版を流す」** 海外売上 0.3兆円→1兆円（2024年→2033年）
IP360	**マンガからアニメ・ゲーム・実写・音楽・グッズまで** 多角的に展開し、IPの利益を最大化
海外展開	**JETRO拠点強化など海外展開を支援** インバウンド需要を「体験価値の提供」で取り込む

（参考）当社の事業：正規版コミックEC ／原画展・ポップアップ・グッズ／台湾ファンミーティング

出典：経済産業省「エンタメ・クリエイティブ産業戦略2026 ～海外売上高20兆円に向けた『ものがたり大国5か年計画』～」（2026年8月20日公表）および同概要資料

本ページは公表された国の政策を紹介するものであり、当社が同戦略に基づく支援・補助の対象であることを示すものではありません。

©2026 TORICO Co.,Ltd.

世界的にポテンシャルの高いキャラクター市場への挑戦

国内コミック市場*1
7,043億円

国内キャラクター物販市場*2
2兆7,464億円

世界キャラクター物販市場*3
24.5兆円

*1：出版科学研究所調べ（2025年）*2：矢野経済研究所「キャラクタービジネスに関する調査（2024年）」*3：Global Licensed Entertainment and Character Merchandise Market Research Report 2025

©2026 TORICO Co.,Ltd.

TORICO

「稼ぐトレジャリー」というコンセプト

ETH価格上昇 ＋ 運用収益 ＋ 事業収益の3層を積み上げる、TORICO独自のトレジャリーモデル

BTC 現物・ETF	保有だけのETHトレジャリー 1.0	TORICO / TORICO Ethereum「稼ぐトレジャリー」2.0
価格依存の単一リターン	ETH価格 ＋ 限定的な利回り	3層を積み上げる独自モデル
事業活用は限定的	事業収益なし	**事業収益** コンサル／ AUM構想
ステーキング不可	運用収益（基本） ステーキングのみ	**運用収益** プット／ステーキング／ DeFi
BTC価格上昇	ETH価格上昇	ETH価格上昇

©2026 TORICO Co.,Ltd.

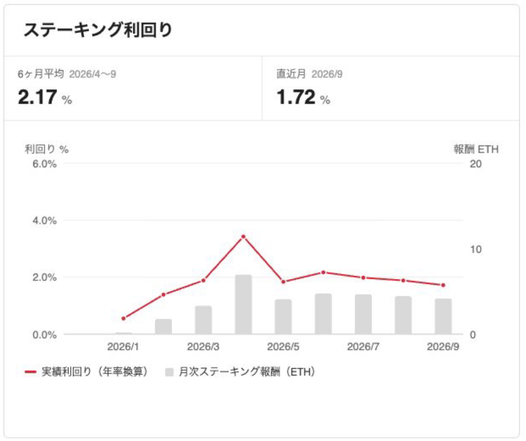
IRトピックス

「イーサリアム（ETH）トレジャリー事業」開始記念優待※1、暗号資産ダッシュボード 公開※2等のIRアクションを実施









※1 2026年2月17日に開示しております「「イーサリアム（ETH）トレジャリー事業」開始特別株主優待の実施に関するお知らせ」をご参照ください。
※2 2026年9月30日に開示しております「「暗号資産事業ダッシュボード」公開に関するお知らせ 」をご参照ください。

©2026 TORICO Co.,Ltd.

SDGsへの取り組み



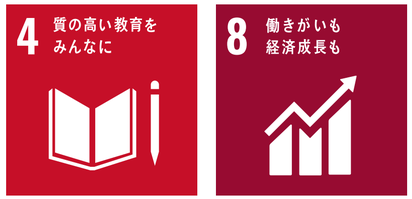
女性の活躍推進

更なる女性の活躍推進を目指し、女性が能力を十分に発揮できるような職場環境づくり、キャリア支援を実施していきます。
2026年3月末時点で、女性社員比率は54%です。



ジェンダー・ペイ・ギャップ（性別による賃金格差）の解消

全ての従業員に対して年齢、性別、国籍に関わらない公平な賃金の支払いに努めるとともに、ジェンダー・ペイ・ギャップの解消を目指しています。2026年3月末時点で、ジェンダー・ペイ・ギャップは女性：男性＝1：1.28です。



公平な成長機会の提供

正社員、非正規社員を含めた全ての従業員に対して、各自の能力を十分に発揮できる成長機会の提供と入社時の雇用形態に捉われない公平な評価を目指しています。2026年3月末時点で、正社員59名中17名（28.8%）が非正規雇用から正社員雇用に移行しています。



持続的な環境への配慮

環境に配慮したサービス・企業活動を通じて、地球環境保全への貢献を目指しています。 商品梱包用に使用している段ボールは原料の93%以上が使用済の段ボールから再利用されており身近なところから実践できる社会貢献を積極的に進めてまいります。

©2026 TORICO Co.,Ltd.

本資料の取り扱いについて

本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの将来の見通しに関する記述は、本資料の日付時点の情報に基づいて作成されています。これらの記述は、将来の結果や業績を保証するものではありません。このような将来予想に関する記述には、既知および未知のリスクや不確実性が含まれており、その結果、将来の実際の業績や財務状況は、将来予想に関する記述によって明示的または黙示的に示された将来の業績や結果の予測とは大きく異なる可能性があります。

これらの記述に記載された結果と大きく異なる可能性のある要因には、国内および国際的な経済状況の変化や、当社が事業を展開する業界の動向などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。

また、当社以外の事項・組織に関する情報は、一般に公開されている情報に基づいており、当社はそのような一般に公開されている情報の正確性や適切性を検証しておらず、保証しておりません。

©2026 TORICO Co.,Ltd.

TORICO